

歴史を比較することは可能か —フランス、日本、朝鮮—

Guillaume Carre

フランス国立社会科学高等研究院日本研究所所長



講演は
日本語で
行われます

「歴史家の眼差しは、身近なところと遠いところ、現在と過去、慣れ親しんだものと新奇なもの、そして自分の文化と他の文明の絶えざる往還のなかで構築される。さらに比較とは、歴史学のダイナミズムのまさに一要素なのである。」（ギヨーム・カレ「歴史の比較・アプローチの交差・概念の再検討」『思想』2014年8月号より）

日本とフランス、そして朝鮮。異なる文化、文明を比較することにどのような意義があり、なぜ必要なのか。フランスの国立社会科学高等研究院（EHESS）日本研究所のギヨーム・カレさんにお話しいただきます。

日時： 11月19日(水)

18:30-20:00

会場： 志高館 SK101教室

入場無料・申込不要

共催： 同志社コリア研究センター

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科

Tel.075-251-3930 / E-mail: ji-gs@mail.doshisha.ac.jp